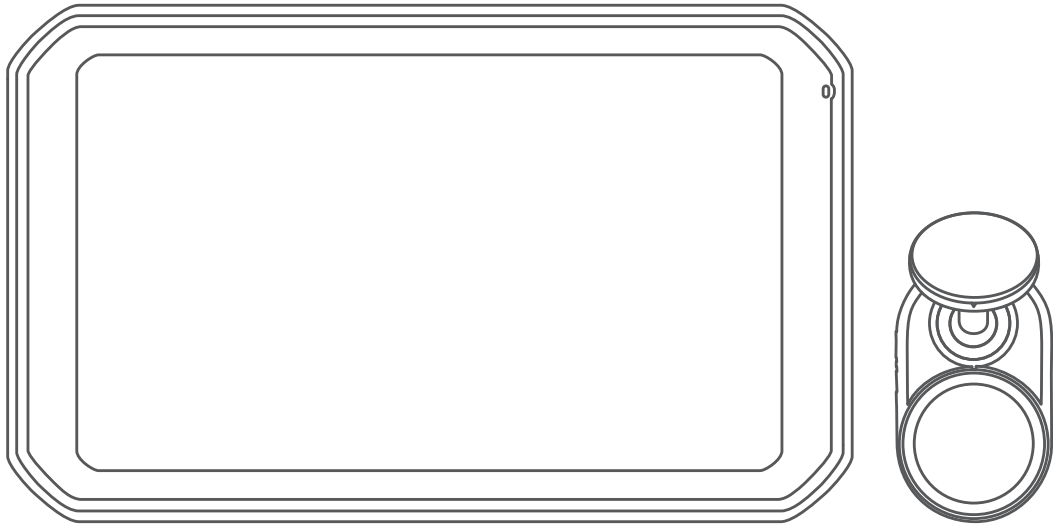


GARMIN®



GARMIN CATALYST™

Driving Performance Optimizer

操作マニュアル

© 2020 Garmin Ltd. or its subsidiaries

無断転載禁ず。著作権法により、Garmin 社の書面による承認なしに、本マニュアルの全体または一部をコピーすることはできません。Garmin 社は、ユーザーや組織に通知する責任を負うことなく本マニュアルの内容を変更または改善したり、内容を変更する権利を有します。本製品の使用に関する最新情報および補足情報については、www.garmin.com を参照してください。

Garmin®および Garmin ロゴは、Garmin Ltd.とその子会社の米国およびその他の国における登録商標です。Garmin Catalyst™、および Garmin Express™は、Garmin Ltd.とその子会社の商標です。これらの商標を、Garmin 社の明示的な許可なしに使用することはできません。

Apple®および Mac®は、米国およびその他の国における Apple Inc.の登録商標です。Bluetooth®ワードマークとロゴは Bluetooth SIG, Inc.の所有であり、Garmin 社はライセンスに基づきこの名前を使用しています。microSD®は SD-3C の商標です。Wi-Fi®は Wi-Fi Alliance の登録商標です。Windows®は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

目次

はじめに..... 1

取り付け..... 1

- マグネット式マウントを車両に取り付ける..... 1
- マウントを車両電源に接続する..... 2
 - 裸線の USB ケーブル..... 2
- カメラの取り付けに関する考慮事項..... 3
- カメラへの偏光フィルターの取り付け..... 4
 - カメラからの偏光フィルターの取り外し..... 5
- フロントガラスにリモートカメラを取り付ける..... 5
- カメラケーブルを接続する..... 7
- マグネット式マウントにデバイスを接続する..... 8
- ダッシュボードへのネジ留め式ボールマウントの取り付け..... 9

デバイスの概要..... 10

- タッチスクリーンを使用する..... 11
- メイン画面..... 12
- ステータスバーアイコン..... 13
- セッションデータを Garmin アカウントと同期する..... 13
- トラック情報の表示..... 13
- 天気予報を表示する..... 13

Catalyst アプリ..... 14

走行セッションを開始する..... 14

- 走行セッションを一時停止する..... 15
- ドライブセッションのオーディオ設定..... 15
 - 音声プロンプトとコーチングの設定..... 15
- レースタイマー..... 16
- トラックを追加する..... 17
- トラック設定の追加..... 17
- ドライバープロフィールを追加する..... 17
 - ドライバープロフィールを編集する..... 17
- 測定単位を変更する..... 17

- 車両プロフィールを追加または編集する..... 18
- 車両またはドライバープロフィールを選択する..... 18

走行セッションを確認する..... 18

- セッションの概要..... 19
- セッションビデオを表示する..... 19
- セッションビデオを保存する..... 19
- セッションを比較する..... 20
- セッションを削除する..... 20
- チャンスを表示する..... 20
 - チャンス..... 21
 - レースコーチにチャンス情報を追加する..... 22
- ラップを確認する..... 22
 - ラップ..... 23
 - ラップスピードデータを表示する..... 23
 - 加速および減速データを表示する..... 24
 - ラップを比較する..... 24

設定..... 24

- ワイヤレスネットワークに接続する..... 24
- Bluetooth 無線技術を有効にする..... 24
 - ワイヤレスヘッドセットまたはカーステレオをペアリングする..... 24
- ディスプレイ設定..... 24
- サウンドと通知の設定..... 25
 - サウンドと通知の音量を調整する..... 25
- テキスト言語を設定する..... 25
- 日付と時刻の設定..... 25
- デバイス設定..... 25
 - データと設定をリセットする..... 25

デバイス情報..... 25

- E ラベルの規制およびコンプライアンス情報の表示..... 25
- 仕様..... 26
- デバイスを充電する..... 26

デバイスのメンテナンス..... 26

- Garmin サポートセンター..... 26
- Wi-Fi ネットワークを使用してソフトウェアを更新する..... 26
- Garmin Express™ でソフトウェアを更新する..... 27

Garmin Express をインストールする	28
カメラソフトウェアの更新	28
デバイスのお手入れ	28
外側ケースのクリーニング	28
タッチスクリーンのクリーニング	28
カメラレンズのクリーニング	28
盗難防止	29
デバイスを再起動する	29
デバイス、マウント、吸着カップを取り外す	29
吸着カップからマウントを取り外す	29
フロントガラスから吸着カップを取り外す	29
粘着式カメラマウントを取り外す	29

トラブルシューティング 29

吸盤がフロントガラスに取り付けられない	29
運転中にマウントでデバイスが所定の位置に保持されない	29
デバイスで衛星信号を受信できない	29
デバイスを車両で充電できない	30
充電しても電池の電力が長持ちしない	30
カメラの作動時にカメラが暖かいような感じがする	30
録画したビデオがぼやけている	30

付録 30

データ管理	30
メモリーカード	30
メモリーカードを交換する	31
メモリーカードのフォーマット	31
メモリーカードからビデオを削除する	31
デバイスをコンピュータに接続する	32
コンピュータからデータを転送する	32
USB ケーブルを取り外す	32
アクセサリを購入する	32

はじめに

⚠ 警告

製品に関する警告およびその他の重要な情報については、製品パッケージに同梱されている『安全性および製品に関する重要な情報』ガイドを参照してください。

このデバイスは、サーキット環境で楽しむことに限定した利用を目的としています。一般道では絶対にこのデバイスを使用しないでください。この警告に従わないと事故が発生し、物的損害、重傷、または死亡につながるおそれがあります。お客様は、このデバイスを安全かつ慎重に使用する責任があります。

デバイスの電源を初めて入れると、画面に表示される指示とともに初期セットアップ手順が表示されます。初めてデバイスを使用する場合、これらの手順を完了する必要があります。

- 1 デバイスの電源を入れ、画面の指示に従います。
- 2 デバイスソフトウェアを更新します (Wi-Fi ネットワークを使用してソフトウェアを更新する, 26 ページ)。

取り付け

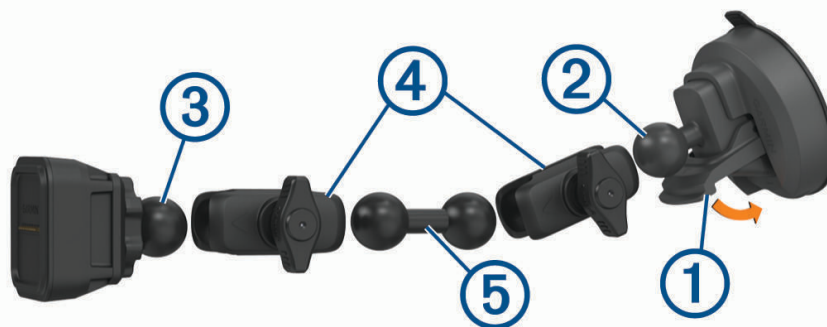
マグネット式マウントを車両に取り付ける

⚠ 警告

この製品には、リチウムイオン電池が使用されています。電池を高温になる場所に放置すると、怪我や製品損傷の可能性があるため、直射日光を避けた場所で装置を保管してください。

デバイスとマウントの両方に磁石が取り付けられています。特定の状況下では、磁石が一部の体内医療機器や電子機器 (ペースメーカー、インシュリンポンプ、ノートパソコンのハードドライブなど) と干渉する可能性があります。デバイスを医療機器や電子機器に近づけないでください。

- 1 フロントガラスと吸盤の汚れを、柔らかい布で拭き取り乾かします。
- 2 吸盤をフロントガラスに取り付け、レバー ① を倒します。



- 3 吸盤マウント ② のボールとマグネット式マウント ③ のボールをダブルソケットアーム ④ につなぎます。
- 4 ダブルボールリンク ⑤ を両方のダブルソケットアームに接続します。
- 5 両方のダブルソケットアームのノブを軽く締めます。
- 6 必要に応じて、Garmin® ロゴが右側を向くようにマグネット式マウントを回転させ、マウントを調整して見やすくし、操作しやすくします。
- 7 ノブを締め、マウントを固定します。

マウントを車両電源に接続する

1 電源ケーブル ① の mini-USB 端子を、マグネット式マウントの mini-USB ポート ② に差し込みます。



2 付属の車両電源アダプター ③ に電源ケーブルを接続します。

3 電源アダプターを車両の電源コンセントに接続します。

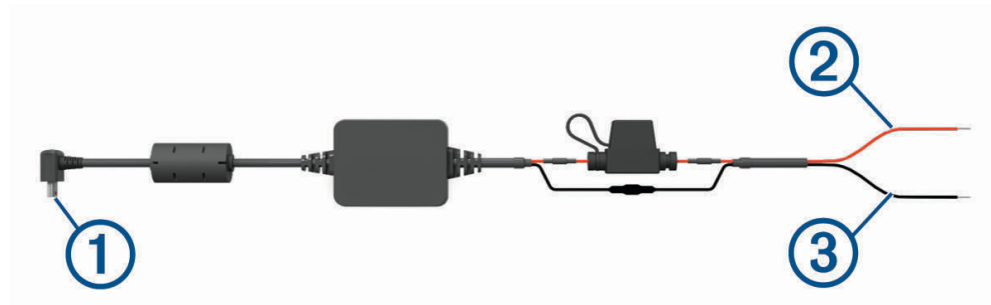
4 必要な場合は、車両のイグニッションスイッチをオンにして、車両の電源コンセントに電力を供給します。

裸線の USB ケーブル

⚠ 警告

Garmin 装置の設置は、電気機器に関する適切な知識を持った、経験豊富な技術者が行うことを強くお勧めします。電源ケーブルの配線を誤ると、車両やバッテリーを破損し、怪我の原因になる可能性があります。

このデバイスには、CLA 電源コンセントがない車両のために、裸線の電源アダプターが付属しています。またこのケーブルは、結線接続の固定電源が推奨される用途にも使用できます。デバイスは、利用可能な電源と安全なケーブル配線に基づいて、車両の適切で安全な場所に取り付ける必要があります。



① デバイスの mini-USB コネクタ

② DC 10 ~ 30 V システム入力電源 (赤)

③ システムグラウンド (黒)

カメラの取り付けに関する考慮事項

デバイスの電源を初めて入れると、カメラの取り付けに役立つ情報が表示されます。カメラは、付属の粘着式マウントを使用してフロントガラスに固定します。粘着剤による取り付けは、いったん取り付けると、取り外しにくくなりますので注意してください。マウントを取り付ける前に、取り付け位置を慎重に検討する必要があります。

- ドライバーの視界をさえぎるような場所にカメラを取り付けしないでください。
- カメラを取り付ける場合、前方の路面がはっきりと見える位置を選択する必要があります。
- フロントガラスの中央、可能な限り高い取り付け位置を選択する必要があります。
- フロントガラスの表面のうち、カメラの視界にあたる部分がワイパーで清掃されることを確認する必要があります。
- フロントガラスのスモーク部にカメラを配置しないでください。

カメラへの偏光フィルターの取り付け

カメラのレンズには、あらかじめ偏光フィルターが取り付けられており、フロントガラスからの光の反射を抑えます。偏光フィルターは着脱可能になっています。

注記

カメラにレンズカバーが取り付けられているときは、レンズカバーを回転させないでください。

- 1 外側の縁の線が上を向くようにフィルターを配置します。



- 2 フィルターをカメラのレンズにしっかりと取り付けます。
- 3 フィルター ① の外側の縁の線が上を向き、Garmin ロゴの右側が上を向くようにします。



カメラからの偏光フィルターの取り外し

- 1 一方の手でカメラをしっかりと持ち、もう一方の手で偏光フィルターを持ちます。
- 2 フィルターを引っ張り、カメラから外します。

フロントガラスにリモートカメラを取り付ける

注記

粘着式マウントは長期的な取り付けを目的としており、取り外しが困難になる場合があります。マウントを取り付ける前に、取り付け位置を慎重に検討する必要があります。

粘着式マウントをフロントガラスに取り付ける前に、フロントガラスに取り付ける場合の考慮事項を確認する必要があります ([カメラの取り付けに関する考慮事項, 3 ページ](#))。

最良の結果を得るには、周辺温度が 21~38°C (70~100°F) のときに、カメラをフロントガラスに取り付ける必要があります。温度がこの範囲外になっている場合、粘着剤がきちんと固着しないことがあります。低い温度でカメラを取り付ける必要がある場合、カメラを取付ける前にフロントガラスに付いた雪、氷、湿気をすべて拭き取り、車両の霜取り装置を使用してフロントガラスを暖める必要があります。

カメラは、付属の粘着式マウントを使用してフロントガラスに固定します。

- 1 水またはアルコールと糸くずの出ない布を使用して、フロントガラスの内側を清掃します。
ほこり、ワックス、油脂成分、コーティングがフロントガラスに残っていないように注意してください。
- 2 カメラをフロントガラスの所定の取り付け位置に固定し、カメラの視界が妨げられないことを確認します。
ヒント：最良の結果を得るには、フロントガラスの中央、可能な限り高い取り付け位置にカメラを取り付ける必要があります。

- 3 視界が確保された取り付け位置を選択したら、マウントの粘着部から保護フィルムをはがします。



- 4 マウントを取り付け位置に持っていきます。

ヒント：粘着部は、非常に高い粘着性があります。マウントの適切な位置が決まるまで、粘着部がフロントガラスに触れないように注意してください。

- 5 マウントをフロントガラスにしっかりと押し付け、30 秒間力を加え続けます。
この作業は、マウントの粘着部をフロントガラスに適切に固着させるのに役立ちます。



カメラケーブルを接続する

1 カメラケーブルをカメラの micro-USB ポートに接続します。



2 トラックに対する視界を妨げないように、カメラケーブルはフロントガラスの周囲に配線します。



ケーブルは、見えない場所に配線するように設計されています。ケーブルを隠すには、フロントガラス、ドアフレーム、またはダッシュボードに沿って車内の端の部分に隠すように配線します。

- 3 必要な場合は、付属の粘着式ケーブルクリップを使用して、カメラケーブルを車両フレームに固定します。
- 4 カメラケーブルをマグネット式マウントの USB ポートに接続します。



マグネット式マウントにデバイスを接続する

マグネット式マウントは Garmin Catalyst™ デバイスに電力を供給します。デバイスをバッテリーで使用する前に、バッテリーを充電する必要があります。

デバイスの後部を磁気マウントに載せます。



ダッシュボードへのネジ留め式ボールマウントの取り付け

ネジ留め式ボールマウントをダッシュボードに取り付ける前に、ダッシュボード上の適切な位置を選択し、取り付け面に適したハードウェアを購入する必要があります。

⚠ 警告

取り付け場所がすべての適用法および条例を遵守していること、また車両の安全な操作中に視界を妨げないことを保証する責任はお客様にあります。

注記

車両にパイロット穴を開け、マウントを取り付けるときには、ワイヤ、計器、エアバッグ、エアバッグカバー、HVACなどは避けてください。Garminは、取り付けによって生じた損害や結果については一切責任を負いません。

注記

Garminは、専門家によるマウントの取り付けを推奨しています。

このデバイスにはオプションの4穴AMPSパターンマウントが同梱されており、吸着カップの代わりにダッシュボードに固定できます。デバイスをフロントガラスに取り付けることができない場合に便利です。

- 1 選択した場所にマウントを配置します。
- 2 マウントをテンプレートとして使用し、ネジ位置①に印を付けます。



- 3 必要に応じて、取り付け面にパイロット穴を開けます。
注：マウント越しにドリルを使わないでください。
- 4 取り付け面に適した M4 または #8 ネジを使用して、マウントをしっかりと固定します。

デバイスの概要





①	マイク
②	音量調節
③	電源キー
④	Micro USB 電源およびデータポート
⑤	補助メモリーカードスロット (追加メモリー用)
⑥	3.5 mm オーディオジャック
⑦	14 ピンコネクタ付き磁気マウントインターフェイス
⑧	スピーカー
⑨	microSD®カード挿入済みメモリーカードスロット (カバーの下)

タッチスクリーンを使用する

- 画面をタップしてアイテムを選択します。
- 画面を指でドラッグまたはスワイプしてパンまたはスクロールします。
- 画面上で 2 本の指でつまむとズームアウトします。
- 画面上で 2 本の指を広げるとズームインします。







メイン画面



① ステータスバー	アイコンを選択すると、詳細情報が表示されます。
② レースプロフィール	ドライバーまたは車両プロフィールを設定します。
③ 設定	デバイス設定を変更します。
④ ドライブ	走行セッションを開始します。
⑤ レビュー	最近の走行セッションの詳細を確認します。
⑥ 同期	Garmin アカウントとデータを同期します。
⑦ 天気情報	最も近いトラックの気象状況を表示します。
⑧ トラック	デバイスにトラック情報を表示します。

ステータスバーアイコン

ステータスバーはメインメニューの一番上に配置されています。ステータスバーアイコンはデバイスの機能情報を表示します。アイコンを選択すると、設定変更や詳細情報の表示ができます。

	カメラのストレージ。タイマーは、メモリーカードに録画可能な推定残り時間を表示します。選択してメモリーカードの空き容量を増やします。
	カメラのステータス。カメラを調整する場合に選択します。
	GPS 信号ステータス 選択すると、位置情報の精度と取得した衛星情報が表示されます。
	Bluetooth®テクノロジーのステータス 選択して Bluetooth 設定を表示します。
	Wi-Fi 信号強度 選択して Wi-Fi 設定を変更します。
	バッテリー充電レベル

セッションデータを Garmin アカウントと同期する

Garmin Catalyst デバイスがセッションデータを Garmin アカウントと同期できるようにするには、Wi-Fi®接続が必要です。

Garmin Catalyst デバイスは自動的にセッションデータを Garmin アカウントと同期します。これにより、Catalyst アプリで走行セッションとパフォーマンスデータを表示できます ([Catalyst アプリ, 14 ページ](#))。

注：デバイスではビデオ映像は同期されません。

- 1 デバイスでセッションデータが自動的に同期されない場合は、**同期**を選択します。
- 2 次の中からオプションを選択します。
 - ・ デバイスで Garmin アカウントにサインインするように求めるメッセージが表示された場合は、**サインイン**または**アカウントの新規作成**を選択します。
 - ・ デバイスで Wi-Fi への接続を求められたら、**接続**を選択します。
- 3 画面に表示される手順に従います。

多要素認証

多要素認証機能は、Garmin アカウントにログインするときに、スマートフォンやメールなどの、2 番目の要素を使用して ID を確認します。

注：この機能を使用するには、Garmin アカウントで多要素認証を有効にする必要があります。

トラック情報の表示

デバイスメモリー内の全レーストラックの情報と統計情報を表示できます

- 1 [ホーム] 画面から、**トラック**を選択します。
- 2 検索バーを選択します。
- 3 トラック名の全部または一部を入力します。
トラック名の候補が検索バーの下に表示されます。
- 4 トラックを選択します。

天気予報を表示する

この機能を使用するには、デバイスをインターネットに接続して、Garmin アカウントにサインインする必要があります。


- 1 [ホーム] 画面で、天気情報バーを選択します。
デバイスには、現在の気象状況と現在の場所の 1 時間ごとの予報が表示されます。
- 2 タブを選択して、追加の天気予報データを表示します。

Catalyst アプリ

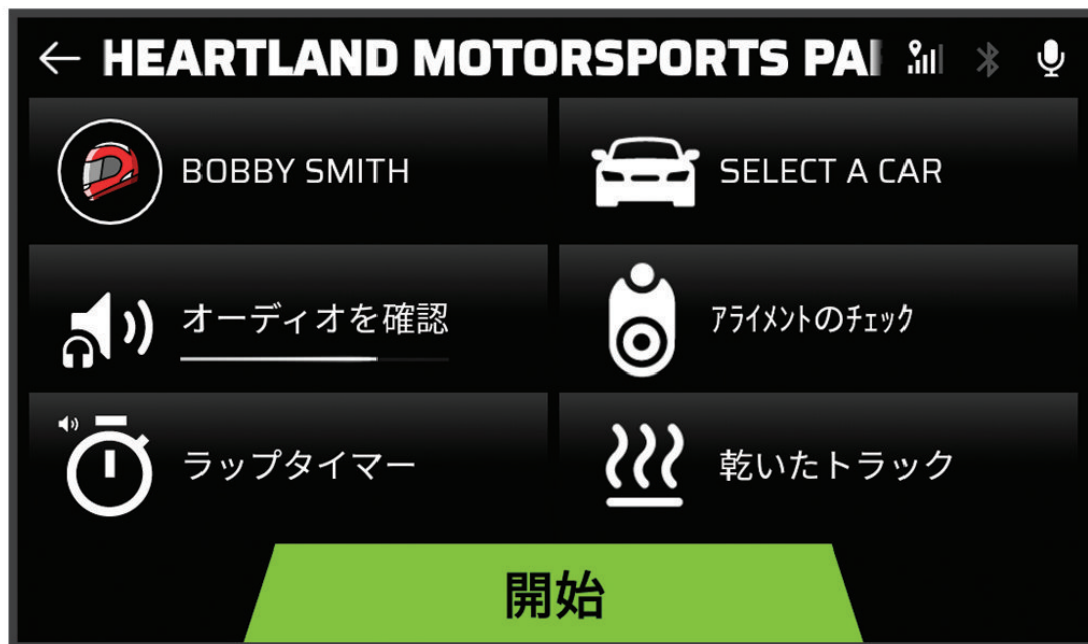
Catalyst アプリを使用すると、Garmin Catalyst デバイスのパフォーマンスデータ（ラップタイム、セッションの概要、年間運転アクティビティメトリックなど）を表示できます。また、各セッションの天候を表示することもできます。このアプリには、ドライバおよび車両プロフィール用のカスタマイズ可能なアイコンが用意されています。Catalyst アプリは、モバイルデバイスのアプリストアからダウンロードできます。








注：ドライバおよび車両プロフィールのアイコンは、Garmin Catalyst デバイスと同期しません。

走行セッションを開始する

走行セッションを開始する前に、デバイスで衛星信号を取得する必要があります。ステータスバーで  を選択して、現在の信号強度と精度を確認できます。

- 1 [ホーム] 画面から、**ドライブ**を選択します。
- 2 **トラック**を選択します。



- 3 次の中からオプションを選択します。
 - ドライバープロフィールを変更するには、 を選択します。
 - 車両プロフィールを変更するには、 を選択します。
 - オーディオ機能を設定するには、 を選択します。
 - トラックの条件を変更するには、 または  を選択します。
 - ラップタイマーを設定するには、 を選択します。
 - オーディオ録音を有効または無効にするには、 を選択します。
- 4 **アライメントのチェック**を選択し、画面の指示に従ってカメラのアライメントを調整します。
- 5 **開始**を選択します。
- 6 走行を開始します。
スタートラインを越えると、タイマーが自動的に始動します。

走行セッションを一時停止する

すでに開始している走行セッションを一時停止できます。走行セッションを一時停止すると、デバイスはオーディオとビデオの録画を停止し、一部のレースデータの録画を停止します。この機能は車両がコース上で故障したときや、長時間ピットストップした際に便利です。

停止すると、デバイスは自動的に走行セッションを一時停止するようドライバーに促します。

- 1 車両を停止します。
- 2 レースタイマーから、オプションを選択します。
 - ・ デバイスから促されたら、**一時停止**を選択します。
 - ・ デバイスから促されない場合は、**停止 > 一時停止**を選択します。

走行を再開すると、セッションが自動的に再開されます。

ドライブセッションのオーディオ設定

レースを開始する前に、オーディオを確認を選択して、ドライブセッションのオーディオ設定を調整できます。

カメラの音声を録音: ドライブセッションビデオのカメラ音声の録音を有効または無効にします。

音声プロンプト: ドライブセッション中に受信する音声コーチングフィードバックと音声プロンプトのレベルを設定します ([音声プロンプトとコーチングの設定, 15 ページ](#))。

オーディオ出力: オーディオ出力デバイスを設定します。

音量: 音声プロンプトの音量レベルを設定します。スライダーを左右に動かして、音量を調節できます。

音声をテスト: サンプルのオーディオクリップを再生して、オーディオ設定の機能と音量をテストします。

音声プロンプトとコーチングの設定

⚠ 警告

アドバンスドレースコーチ機能は、経験豊富なハイスピードドライバーのみが使用することを意図しています。経験の浅いドライバーがこの機能を使用すると、物的損害、けが、または死亡事故につながるおそれがあります。アドバンスドレースコーチが提供する提案は、お客様ご自身の責任で信頼、ご利用ください。

ドライブセッション中に受信する音声コーチングのフィードバック量を設定できます。ドライブセッションを開始する前に、**オーディオを確認 > 音声プロンプト**の順に選択します。

アドバンスドレースコーチ: ブレーキングやコーナリングに関するアドバイスなど、運転中に高度なコーチングフィードバックを自動的に行うようデバイスを設定します。

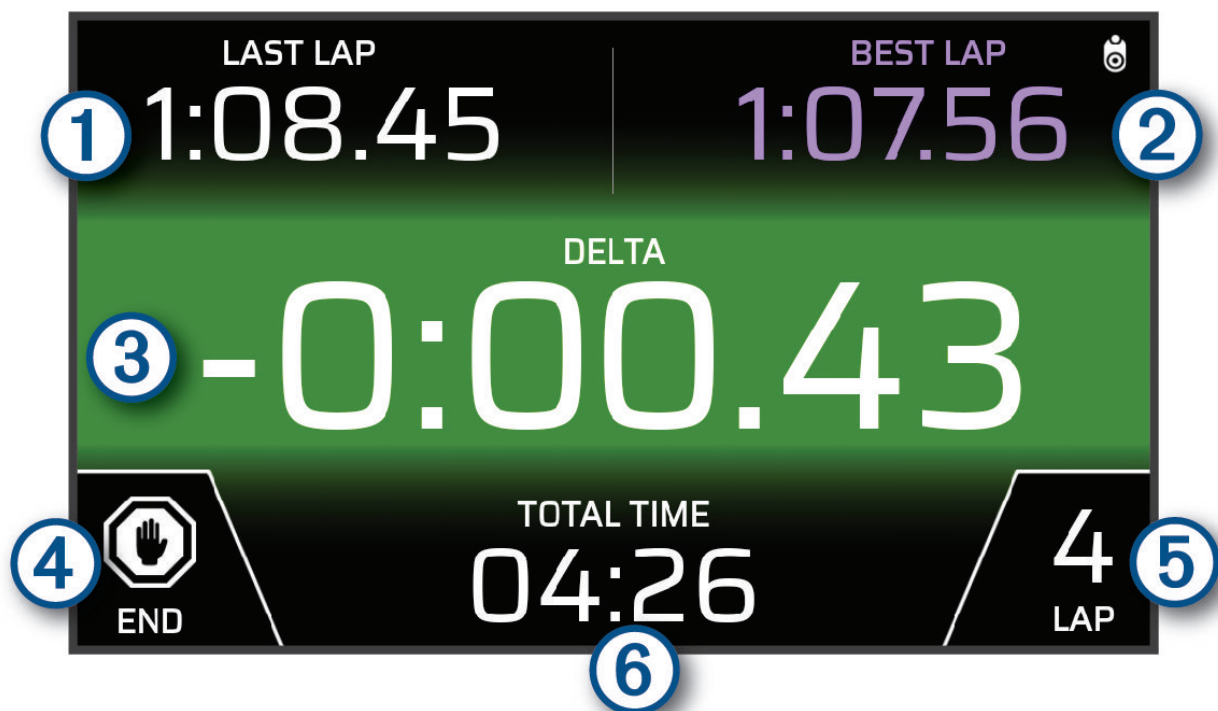
レースコーチ: ユーザーのパフォーマンスに基づいて基本的なコーチングフィードバックを提供するようデバイスを設定します。ドライブセッションを確認した後で、レースコーチのフィードバックにプロンプトを追加することができます ([レースコーチにチャンス情報を追加する, 22 ページ](#))。

ラップタイムのみ: ラップタイム情報のみを含む音声プロンプトを提供するようデバイスを設定します。

オフ: 音声プロンプトを無効にします。

レースタイマー

走行中、デバイスは進行状況を記録し、音声によりコーチングのヒントを提供します。レースタイマーはラップ番号を記録し、ベストラップタイムを表示します。



① 前ラップ	現在のセッションの前回ラップタイムを表示します。
② ベストラップ	現在のセッションのベストラップタイムを表示します。
③ 差分	現在のセッションの現在のラップとベストラップ間の時間差を表示します。
④ 終了	現在のセッションを終了します。
⑤ ラップ	現在のラップ番号を表示します。
⑥ 合計時間	合計ラップ時間を表示します。

トラックを追加する

まだロードされていないトラックをデバイスに追加できます。デバイスは GPS の位置情報と車両の動きに基づいてトラックマップを作成します。

- 1 **ドライブ > トラックを追加**を選択します。
- 2 画面の指示に従って、走行セッションに関するトラックの詳細と情報を入力します。
- 3 **開始**を選択します。
- 4 走行を開始します。
ピットエリアを出て、トラックに入ると、最低 90 km/h (55 mph) で 0.5 秒以上直進し、1 周を走行する必要があります。
- 5 走行セッションが完了したら、**終了**を選択します。
- 6 **▶▶**または **◀◀**を選択して、マップ上にスタートラインを配置します。
- 7 **保存**を選択します。

トラック設定の追加

デバイスに保存されているトラックに追加の設定を追加できます。

- 1 **ドライブ**を選択します。
- 2 **トラック**を選択します。
- 3 **トラック設定を追加**を選択します。
- 4 画面の指示に従って、走行セッションに関するトラックの詳細と情報を入力します。
- 5 **開始**を選択します。
- 6 走行を開始します。
- 7 走行セッションが完了したら、**終了**を選択します。
- 8 **▶▶**または **◀◀**を選択して、マップ上にスタートラインを配置します。
- 9 **保存**を選択します。

ドライバープロフィールを追加する

- 1 [ホーム] 画面で、レースプロフィールアイコン ([メイン画面, 12 ページ](#))を選択します。
- 2 **ドライバー**を選択します。
- 3 **プロフィールの追加**を選択します。
- 4 画面に表示される手順に従います。

ドライバープロフィールを編集する

ドライバープロフィールを編集して、環境設定を調整したり測定単位を変更したりできます。

- 1 [ホーム] 画面で、レースプロフィールアイコン ([メイン画面, 12 ページ](#))を選択します。
- 2 **ドライバー**を選択します。
- 3 **🔧**を選択します。
- 4 フィールドを選択して内容を編集します。

測定単位を変更する

デバイスに表示する測定単位をカスタマイズできます。

- 1 [ホーム] 画面で、レースプロフィールアイコン ([メイン画面, 12 ページ](#))を選択します。
- 2 **ドライバー > 🔧 > 単位**を選択します。
- 3 測定単位を選択します。

車両プロフィールを追加または編集する

- 1 [ホーム]画面で、レースプロフィールアイコン ([メイン画面, 12 ページ](#))を選択します。
- 2 車両を選択します。
- 3 次の中からオプションを選択します。
 - ・ 車両プロフィールを追加するには、**車両の追加**を選択します。
 - ・ 車両プロフィールを編集するには、**✎**を選択します。
- 4 フィールドを選択して、車両のメーカー、モデル、年式に関する情報を入力します。
- 5 完了を選択します。

車両またはドライバープロフィールを選択する

- 1 [ホーム]画面で、レースプロフィールアイコン ([メイン画面, 12 ページ](#))を選択します。
- 2 次の中からオプションを選択します。
 - ・ ドライバープロフィールを変更するには、**ドライバー**を選択します。
 - ・ 車両プロフィールを変更するには、**車両**を選択します。
- 3 車両またはドライバーを選択します。

走行セッションを確認する

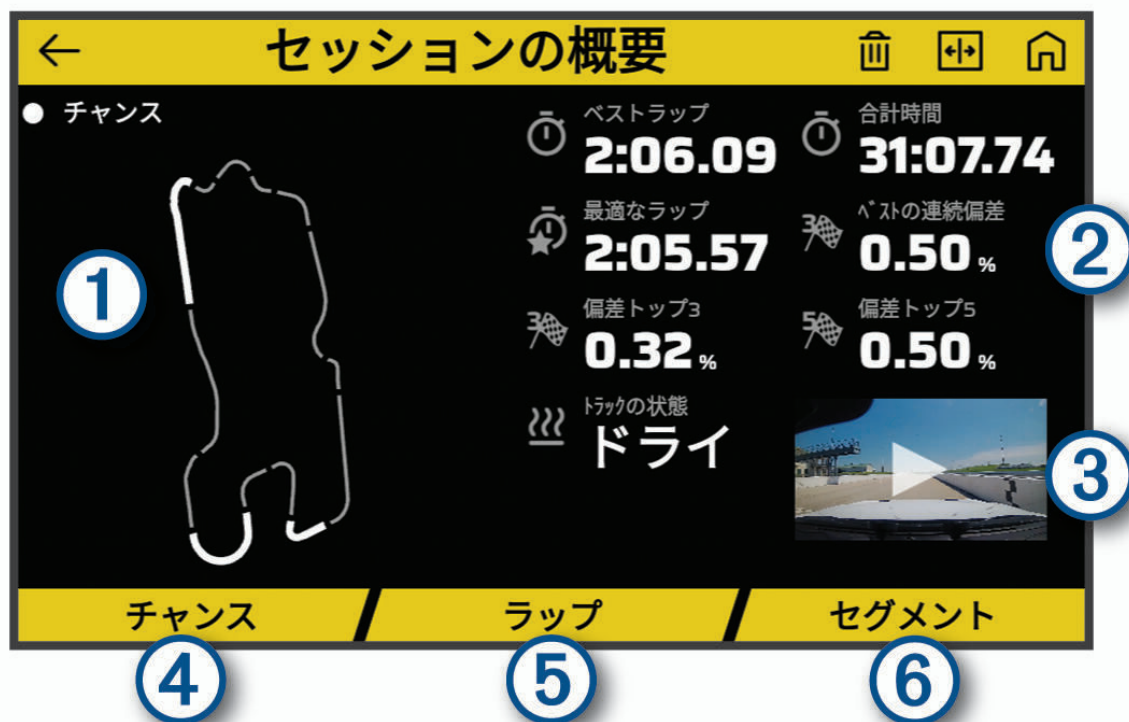
⚠ 警告

走行中は走行セッションを確認しないでください。周囲や路上の状況確認を怠ると、重傷や死亡事故につながるおそれがあります。

デバイスには、各走行セッションの詳細情報が記録されます。各走行セッションの結果を個別に表示したり、別のセッションとデータを比較したりできます各セッションの終了時に各走行セッションを自動的に確認するよう求められます。

- 1 [ホーム]画面から、**レビュー**を選択します。
- 2 **トラック**を選択します。
- 3 画面の指示に従って、走行セッションを選択します。

セッションの概要



①	トラックマップ	トラックマップを表示します。強調表示されたセグメントを選択して、そのセグメントのチャンスを表示できます。
②	セッションの概要の統計情報	選択したセッションのトラック条件とパフォーマンス測定基準について概要を表示します。
③	セッションビデオのサムネイル	セッション全体のビデオを表示します。
④	チャンス	選択したセッションを対象として、改善のチャンスを表示します (チャンス, 21 ページ)。
⑤	ラップ	各ラップの詳細情報を表示します (ラップを確認する, 22 ページ)。
⑥	セグメント	各トラックセグメントの詳細情報を表示します。

セッションビデオを表示する

走行時に、デバイスで走行セッションのビデオが録画されます。各セッションの録画映像を表示できます。この機能は、パフォーマンスデータの視覚化に役立ちます。

セッションの概要画面で、ビデオのサムネイルを選択します (セッションの概要, 19 ページ)。


セッションビデオを保存する

録画したセッションビデオ (データオーバーレイ付き) をメモリーカードに保存できます。

- 1 セッションの概要画面で、ビデオのサムネイルを選択し、を選択します (セッションの概要, 19 ページ)。
- 2 データオーバーレイオプションを選択し、次へを選択します。
- 3 デルタタイマーオプションを選択し、ビデオを保存を選択します。


セッションを比較する

2つの走行セッションの結果を比較できます。この比較により、2つのセッション間の改善領域を確認できます。

- 1 セッションの概要画面で、 > はいを選択します。
- 2 セッションを選択します。

セッションを削除する

走行セッションを削除して、メモリーカードの空き容量を増やすことができます。削除した走行セッションは回復できません。

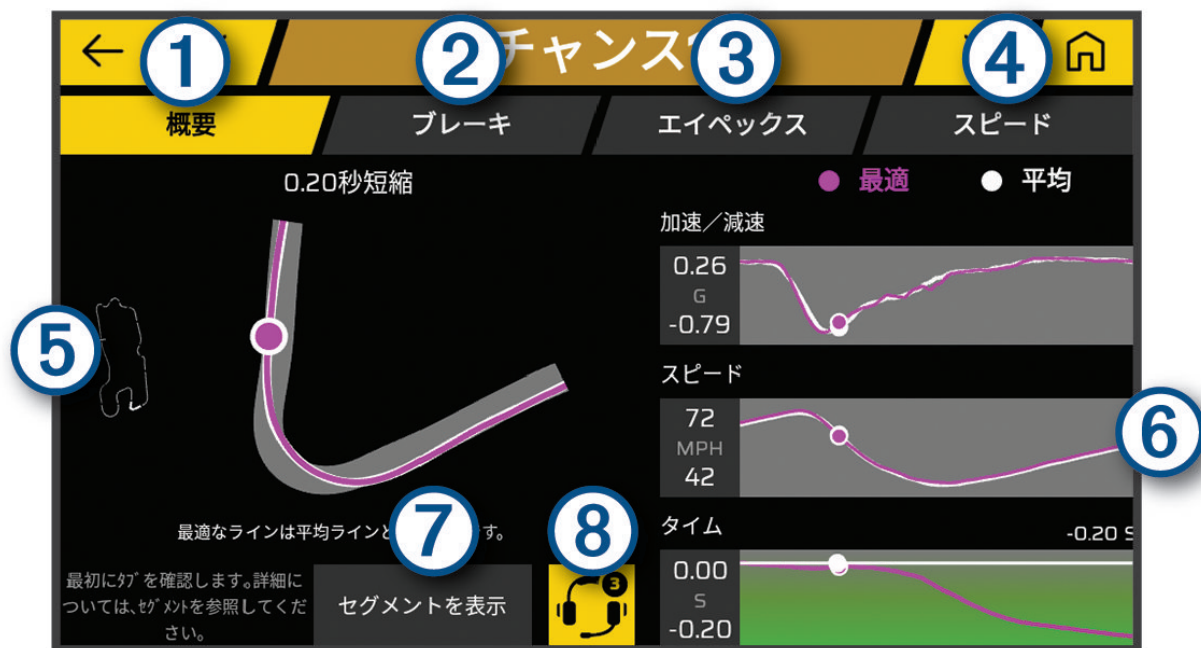
セッションの概要画面で、 を選択します。

チャンスを表示する

走行セッション中、デバイスはパフォーマンスを分析し、改善のチャンスを記録します。チャンスとは、ラップタイムの短縮に役立つコーチングヒントです。[チャンス]ページでは、チャンスを確認して改善のためのヒントを提供できます。

セッションの概要画面で、**チャンス**を選択します。

チャンス




① 概要	チャンスの概要を表示します。
② ブレーキ	選択したトラックセグメントに関して、最適なブレーキタイミングとコーチングアドバイスを表示します。
③ エイペックス	選択したトラックセグメントに関して、最適なトラックの走行方法とコーチングアドバイスを表示します。
④ スピード	選択したトラックセグメントに関して、最適なスピードとコーチングアドバイスを表示します。
⑤ トラックセグメントマップ	選択したトラックセグメントでパフォーマンスのアニメーションマップを表示します。
⑥ データグラフ	最適なデータと比較した場合の加速、スピード、またはタイムのグラフを表示します。
⑦ セグメントを表示	ビデオクリップやスピード情報など、現在のトラックセグメントに関して追加の詳細情報を表示します。
⑧ すべてのチャンスを追加	選択すると、利用可能なすべてのチャンスがレースコーチに追加されます。

レースコーチにチャンス情報を追加する

レースコーチ機能に記録されたチャンスを追加できます。次回、保存済みトラックセグメントに近づくと、ペアリングされたヘッドセットまたはカーステレオを通じて、デバイスからコーチング情報が提供されます。

1 セッションの概要画面で、**チャンス**を選択します。

2 次の中からオプションを選択します。

- すべてのチャンスを追加するには、を選択します。

注：この機能を使用するには、走行セッションの開始時に**アト・ハント・レース**を有効にする必要があります
([音声プロンプトとコーチングの設定, 15 ページ](#))。

- 一度に 1 つのチャンスを追加するには、[**チャンス**] を選択します。

3 次の中からオプションを選択します。

- ブレーキタイミングの情報を表示するには、**ブレーキ**を選択します。
- コーナー旋回時のトラック幅の使用状況に関する情報を表示するには、**エイベックス**を選択します。
- 速度に関する情報を表示するには、**スピード**を選択します。

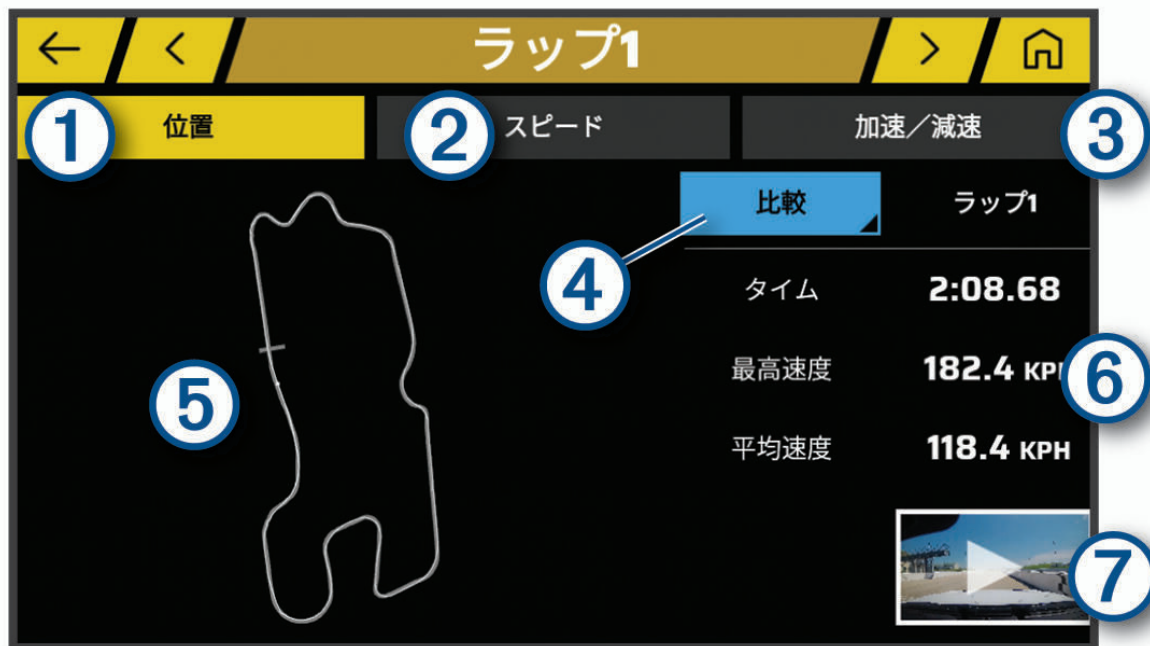
4 レースコーチに追加を選択します。

ラップを確認する

[**ラップ**] ページでは、各ラップのラップ時間とスピード情報を確認できます。同じセッションで、任意の 2 つのラップを比較できます。

セッションの概要画面で、**ラップ** を選択します。

ラップ



① 位置	ラップ中のトラック位置のマップを表示します。
② スピード	ラップ中のさまざまな地点でスピードを示したマップを表示します。
③ 加速 / 減速	ラップ中のさまざまな地点で加速率または減速率を示したマップを表示します。
④ 比較	選択したラップと別のラップを比較します。
⑤ トラックマップ	タッチスクリーンコントロール (タッチスクリーンを使用する, 11 ページ) を使用して、ラップデータの表示を調整します。
⑥ 時間とスピードの情報	ラップタイム、最高スピード、平均スピードを表示します。
⑦ ビデオのサムネイル	選択したラップのビデオを表示します。

ラップスピードデータを表示する

ラップ中のさまざまな地点で詳細なスピードデータを示したマップを表示できます。

- 1 セッションの概要画面で、**ラップ** を選択します。
- 2 任意のラップを選択します。
- 3 **スピード** を選択します。

加速および減速データを表示する

ラップ中のさまざまな地点で詳細な加速データを示したマップを表示できます。

- 1 セッションの概要画面で、**ラップ** を選択します。
- 2 任意のラップを選択します。
- 3 **加速 / 減速**を選択します。


ラップを比較する

同じセッションで、任意の 2 つのラップを比較できます。

- 1 セッションの概要画面で、**ラップ** を選択します。
- 2 任意のラップを選択します。
- 3 **比較**を選択します。
- 4 ラップを選択し、**OK** を選択します。

設定

ワイヤレスネットワークに接続する



- 1  > **Wi-Fi** を選択します。
- 2 必要に応じて切り換えスイッチを選択して、ワイヤレスネットワークを有効にします。
- 3 ワイヤレスネットワークを選択します。
- 4 必要に応じて暗号キーを入力します。

デバイスがワイヤレスネットワークに接続されます。デバイスがネットワーク情報を記憶し、この場所に戻ったときに、自動的に接続します。

Bluetooth 無線技術を有効にする

 > **Bluetooth** の順に選択します。

ワイヤレスヘッドセットまたはカーステレオをペアリングする

- 1 ヘッドセットと Garmin Catalyst デバイスの距離は 10 m (33 ft.) 以内になるようにします。
- 2 Garmin Catalyst デバイスで、 > **Bluetooth** の順に選択します。
- 3 Garmin Catalyst デバイスで、Bluetooth ワイヤレス技術が有効になっていることを確認します。
- 4 ヘッドセット側で Bluetooth 無線機能を有効にして、他の Bluetooth デバイスに表示されるようにします。
- 5 デバイスのリストからヘッドセットを選択します。
ヒント：ヘッドセットがリストに表示されない場合は、 > **再読み込み**を選択して Bluetooth デバイスのリストを更新できます。
- 6 画面上の指示に従って、ペアリングプロセスを完了します。

ディスプレイ設定

 > **ディスプレイ**の順に選択します。

輝度レベル: デバイスのディスプレイの輝度レベルを設定します。

自動輝度調整: デバイスがマウントから取り外されたときにバックライトの輝度を周辺光に応じて自動的に調整します。

スリープ: バッテリー電源の使用時にデバイスがスリープモードに移行するまでのアイドル時間を設定できます。

キャプチャ: デバイス画面の画像を撮影できます。スクリーンショットは、デバイスの Screenshot フォルダに保存されます。

サウンドと通知の設定

⚙️ > サウンドと通知の順に選択します。

音量スライダ: オーディオ機能の音量レベルを設定します。

その他のサウンド: 画面のタッチ、画面のロック、充電など、その他のデバイス操作音を有効または無効にすることができます。

サウンドと通知の音量を調整する

1 ⚙️ > サウンドと通知の順に選択します。

2 スライダバーを使用して、サウンドと通知の音量を調整します。

テキスト言語を設定する

デバイスソフトウェアのテキストの言語を選択できます。

1 ⚙️ > 言語と入力 > 言語の順に選択します。

2 言語を選択します。

日付と時刻の設定

⚙️ > 日付と時刻の順に選択します。

自動タイムゾーン: 接続されたネットワークからの情報に基づいてタイムゾーンを自動的に設定します。

タイムゾーンの選択: 自動タイムゾーンが無効になっている場合は、デバイスのタイムゾーンを設定します。

24 時間表示を使用: 24 時間形式を有効または無効にします。

デバイス設定

⚙️ > デバイスについての順に選択します。

ステータス: システムの状態とネットワーク情報を表示します。

法規制情報: エンドユーザー使用許諾契約 (EULA) およびソフトウェアライセンス情報を表示できます。

規制情報: E ラベルの規制および規制準拠に関する情報を表示します。

Garmin デバイス情報: ハードウェアおよびソフトウェアバージョン情報を表示します。

デバイスデータの報告: デバイスの機能を向上するために匿名データを共有します。

データと設定をリセットする

ユーザーデータを削除して、すべての設定を工場出荷時の初期設定値にリセットするには、複数の方法があります。

1 ⚙️ を選択します。

2 次のの中からオプションを選択します。

- 保存されているすべてのワイヤレスネットワークとペアリング済みデバイスを削除するには、**デバイスのリセット > ネットワーク設定のリセット**の順に選択します。

このオプションを選択しても他のユーザーデータは削除されません。

- すべてのユーザーデータを削除して、すべての設定を工場出荷時の初期設定値にリセットするには、**デバイスのリセット > 工場出荷時データの再設定**の順に選択します。

このオプションを使用すると、走行履歴、アプリ、アカウント、設定、保存されたネットワーク、ペアリングされたデバイス、およびその他のすべてのユーザーデータが削除されます。インストール済みの地図は削除されません。Garmin フォルダ内のユーザーファイルは削除されません。

デバイス情報

E ラベルの規制およびコンプライアンス情報の表示

1 設定メニューから、メニューの下部にスワイプします。

2 デバイスについて > 規制情報を選択します。

仕様

動作温度範囲	-20° ~ 55°C (-4° ~ 131°F)
充電温度範囲	0° ~ 45°C (32° ~ 113°F)
無線周波数 / プロトコル	2.4 GHz @ 19.5 dBm 最大
電源入力	付属の車両用電源ケーブルを使用した電源供給 別売アクセサリを使用して AC 電源から電源供給 (家庭やオフィスでの使用時限定)
バッテリータイプ	充電式リチウムイオン

デバイスを充電する

注：このクラス III 製品は LPS 電源により電源が供給されます。

以下のいずれかの方法で、デバイスのバッテリーを充電することができます。

- ・ デバイスをマウントに取り付けて、マウントを車両電源に接続します。
- ・ コンセント電源アダプターなどのオプション電源アダプターアクセサリにデバイスを接続します。
家庭用またはオフィス用に適した、承認済みの GarminAC-DC アダプターを Garmin 販売店または www.garmin.com から購入できます。デバイスがサードパーティ製アダプタに接続されている場合、デバイスの充電に時間がかかる場合があります。

デバイスのメンテナンス

Garmin サポートセンター


製品マニュアル、よく寄せられる質問 (FAQ)、ビデオ、カスタマーサポートなどのヘルプや情報については、support.garmin.com を参照してください。

Wi-Fi ネットワークを使用してソフトウェアを更新する

注記


ソフトウェアの更新では、大きなファイルをダウンロードするデバイスが必要になることがあります。通常のデータ制限や料金がインターネットサービスプロバイダから適用されます。データ制限や料金の詳細については、インターネットサービスプロバイダにお問い合わせください。

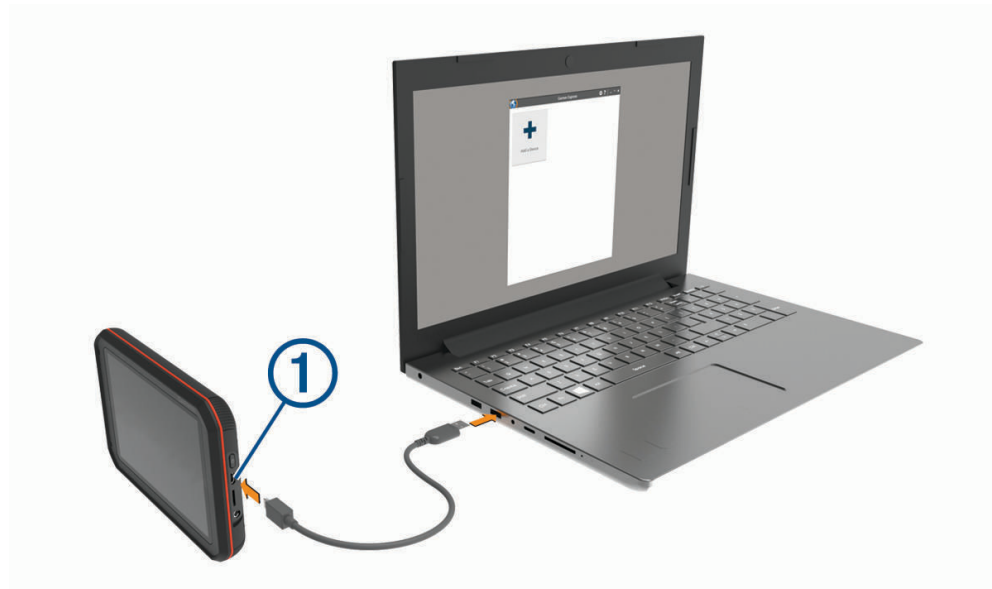
インターネットへのアクセスを提供する Wi-Fi ネットワークにデバイスを接続することで、ソフトウェアを更新できます。これにより、デバイスをコンピュータに接続しないで最新の状態に保つことができます。

- 1 付属の USB ケーブルを使用して、デバイスを外部電源に接続します。
注：USB 電源アダプターは付属していません。アクセサリの電源アダプターを購入するには、garmin.com の製品ページにアクセスしてください。
- 2 デバイスを Wi-Fi ネットワークに接続します ([ワイヤレスネットワークに接続する, 24 ページ](#))。
Wi-Fi ネットワークに接続されている間、デバイスは利用可能な更新がないか自動的にチェックし、利用可能な更新が見つかったと通知を表示します。
- 3  システムの更新を選択します。
利用可能なソフトウェアの更新が表示されます。更新が利用可能な場合は、**更新が利用可能**がソフトウェアの下に表示されます。
- 4 **ダウンロード**を選択します。
- 5 必要に応じて、使用許諾契約を読み、**同意**を選択して使用許諾契約に同意します。
注：使用許諾契約に同意しない場合、拒否を選択できます。これにより、更新処理は停止します。使用許諾契約に同意するまで更新をインストールすることはできません。
- 6 更新処理が完了するまで、デバイスを外部電源に接続したままにして Wi-Fi ネットワークの範囲内に維持します。

Garmin Express™でソフトウェアを更新する

Garmin Express アプリケーションを使用して、お使いのデバイスに対応した最新のソフトウェア更新をダウンロードしてインストールできます。

- 1 コンピュータに Garmin Express アプリケーションがインストールされていない場合は、garmin.com/express にアクセスし、画面に表示される指示に従ってインストールします (Garmin Express をインストールする, 28 ページ)。
- 2  Garmin Express アプリケーションを開きます。
- 3 micro-USB ケーブルを使用して、デバイスをコンピュータに接続します。
ケーブルの小さい方の端は Garmin Catalyst デバイスの micro-USB ポート ① に接続し、大きい方の端はコンピュータで利用できる USB ポートに接続します。



- 4 Garmin Express アプリケーションで、**デバイスの追加**をクリックします。
Garmin Express アプリケーションはデバイスを検索し、デバイス名とシリアル番号を表示します。
- 5 **デバイスの追加**をクリックし、画面に表示される指示に従って、ご使用のデバイスを Garmin Express アプリケーションに追加します。
セットアップが完了すると、Garmin Express アプリケーションにデバイスで利用できる更新が表示されます。



- 6 次の中からオプションを選択します。
 - ・ 利用可能なすべての更新をインストールするには、**すべてインストール**をクリックします。
 - ・ 特定の更新をインストールするには、**詳細の表示**をクリックし、必要な更新の横にある**インストール**をクリックします。

Garmin Express アプリケーションがデバイスに更新をダウンロードしてインストールします。
- 7 更新処理中は画面上の指示に従って、更新のインストールを完了します。
たとえば、更新処理中、Garmin Express アプリケーションからデバイスを切断して再接続するように指示される場合があります。

Garmin Express をインストールする

Garmin Express アプリケーションは Windows®および Mac®コンピュータで利用できます。

- 1 コンピュータから garmin.com/express にアクセスします。
- 2 次のの中からオプションを選択します。
 - ・ システム要件を表示し、Garmin Express アプリケーションがコンピュータと互換性があることを確認するには、**システム要件**を選択します。
 - ・ Windows コンピュータにインストールするには、**ダウンロード (Windows)**を選択します。
 - ・ Mac コンピュータにインストールするには、**ダウンロード (Mac)**を選択します。
- 3 ダウンロードファイルを開き、画面に表示される指示に従って、インストールを完了してください。

カメラソフトウェアの更新

Garmin Catalyst デバイスのソフトウェア更新には、リモートカメラのソフトウェア更新が含まれている場合があります。次回マグネット式マウントに接続するときに、デバイスはカメラの更新をインストールするよう求めます。

- 1 Garmin Catalyst デバイスでソフトウェアを更新します (Wi-Fi ネットワークを使用してソフトウェアを更新する, 26 ページ)。
- 2 マグネット式マウントに Garmin Catalyst デバイスを接続します。
- 3 必要に応じて、車両のイグニッションをオンにしてマウントとカメラに電力を供給します。
カメラの更新が利用可能な場合は、デバイスはカメラを更新するよう求めます。
- 4 画面上の指示に従って、カメラソフトウェアを更新します。

デバイスのお手入れ

注記

装置を落とさないようにしてください。

長時間高温に晒されるような場所に装置を保管しないでください。破損する可能性があります。

タッチスクリーンの操作に硬いものやとがったものは絶対に使用しないでください。スクリーンを傷つける恐れがあります。

デバイスを水に濡らさないでください。

外側ケースのクリーニング

注記

化学洗剤や溶媒は使用しないでください。プラスチック部品が損傷する可能性があります。

- 1 低刺激性の洗浄液で湿らせた布で、デバイスの外側ケース (タッチスクリーン以外) を拭きます。
- 2 デバイスの湿気を拭き取ります。

タッチスクリーンのクリーニング

- 1 柔らかく、清潔で糸くずの出ない布を使用します。
- 2 必要に応じて、布を軽く湿らせます。
- 3 湿らせた布を使用する場合は、デバイスの電源をオフにして、デバイスを電源から切り離します。
- 4 力を入れずに画面を布で拭きます。

カメラレンズのクリーニング

注記

化学洗剤や溶媒は使用しないでください。プラスチック部品が損傷する可能性があります。

録画ビデオの品質を改善するため、カメラレンズを定期的にクリーニングする必要があります。

- 1 必要に応じてイソプロピルアルコールで湿らせた、傷を付けないレンズクロスでレンズを拭きます。
- 2 レンズを空気乾燥させます。

盗難防止

- ・ 使用しないときは、デバイスおよびマウントを見えるところから取り外してください。
- ・ 吸着カップによって付いたフロントガラス上の汚れを取り除いてください。
- ・ ユニットをダッシュボードのグローブボックスに入れておかないでください。
- ・ Garmin Express ソフトウェアを使用してデバイスを登録します (garmin.com/express)。

デバイスを再起動する

デバイスが動作を停止した場合には、再起動できます。

電源キーを 10 秒間押し続けます。

デバイス、マウント、吸着カップを取り外す

吸着カップからマウントを取り外す

- 1 マグネット式マウントを吸着カップボールに固定しているナットを緩めます。
- 2 デバイスのマウントを右または左に回転させます。
- 3 マウントのソケットから吸着カップのボールが外れるまで力を掛けます。

フロントガラスから吸着カップを取り外す

- 1 吸着カップのレバーを自分の方に倒します。
- 2 吸着カップのつまみを自分の方に引きます。

粘着式カメラマウントを取り外す

粘着式カメラマウントは長期的な取り付けを目的としており、取り外しが困難になる場合があります。

- 1 マウントをしっかりと握ります。
- 2 粘着剤がはがれるまで強い力でマウントを持ち上げ、窓または表面から引き離します。
- 3 残っている粘着剤をすべて表面から取り除きます。

トラブルシューティング

吸盤がフロントガラスに取り付けられない

- 1 吸盤とフロントガラスを消毒用アルコールで拭き取ります。
- 2 乾燥した清潔な布で乾かします。
- 3 吸盤を取り付けます。

運転中にマウントでデバイスが所定の位置に保持されない

最善の結果を得るには、車両マウントをきれいな状態に保ち、デバイスを吸盤の近くに配置します。

運転中にデバイスの位置が動く場合は、以下の操作を実行してください。

- ・ 電源に接続されたマウントを吸盤アームから取り外し、ボールとソケットを布で拭きます。
ほこりなどの異物が入ると、ボールとソケットジョイントとの摩擦が減り、運転中にジョイントが動きます。
- ・ ヒンジ付きのアームを、フロントガラスの角度で可能な限り吸盤に向けて回転させます。
デバイスをフロントガラスの近くに置くと、道路からの揺れや振動の影響が軽減されます。

デバイスで衛星信号を受信できない

- ・ 駐車場からデバイスを持ち出して、高層ビルや樹木から離れた場所へ移動してください。
- ・ 数分間静止したままにします。

デバイスを車両で充電できない

- ・ 車両のイグニッションがオンになっており、電源コンセントに電気が流れていることを確認します。
- ・ 車内温度が仕様で指定されている充電温度範囲内であることを確認します。
- ・ 車両のヒューズボックスで、車両の電源コンセントのヒューズが切れていないことを確認します。

充電しても電池の電力が長持ちしない

- ・ 画面の輝度を下げます (ディスプレイ設定, 24 ページ)。
- ・ ディスプレイのタイムアウトを短くします (ディスプレイ設定, 24 ページ)。
- ・ 音量を下げます (サウンドと通知の音量を調整する, 25 ページ)。
- ・ 使用しないときは、Wi-Fi 無線をオフにします (ワイヤレスネットワークに接続する, 24 ページ)。
- ・ 使用しないときは、デバイスを省電力モードにします。
- ・ デバイスを高温になる場所に保管しないでください。
- ・ デバイスは直射日光の当たるところに放置しないでください。

カメラの作動時にカメラが暖かいような感じがする

Garmin カメラは、車内環境を対象として設計されています。製品が暖かくなったり高温になったりすることは、正常な想定どおりの状態です。温暖な気候で日射しが最大限に強い状況でも、この製品は安全に使用できます。デバイス自体の温度が指定された最大動作周囲温度を超えても、デバイスは安全に使用できます。必ず製品マニュアルに記載されているデバイスの使用方法および手入れ方法に従ってください。

録画したビデオがぼやけている

- ・ カメラレンズをクリーニングします (カメラレンズのクリーニング, 28 ページ)。
- ・ カメラの前にあるフロントガラスをクリーニングします。
- ・ カメラの前にあるフロントガラスの領域がフロントガラスのワイパーできれいになることを確認し、必要に応じてデバイスを移動します。

付録

データ管理

デバイスには、データストレージを追加できるメモリーカードスロットがあります。

注：このデバイスは Windows 7 以降、および Mac OS 10.4 以降に対応しています。

メモリーカード

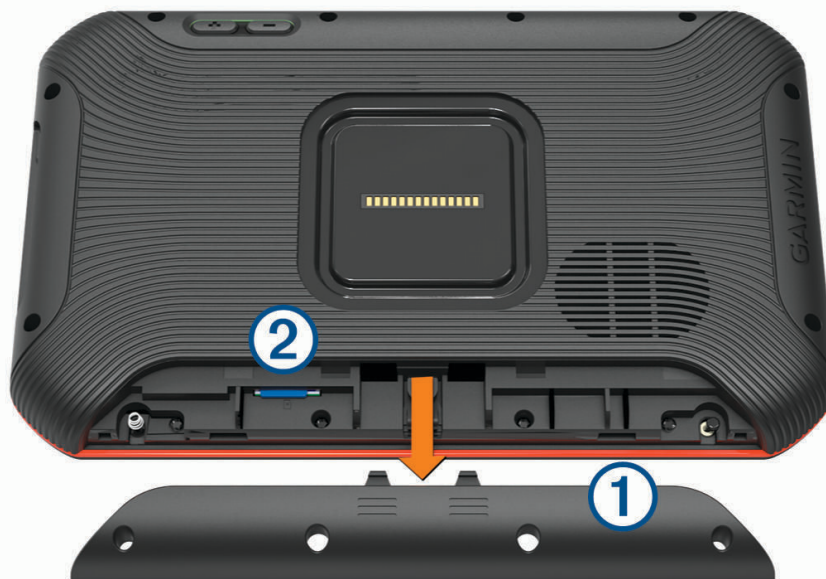
メモリーカードは家電販売店で購入できます。メモリーカードを使用して、走行セッションのビデオ映像やデータを保存できます。

メモリーカードを交換する

メモリーカードを交換することで、記憶容量を増やしたり耐用年数に達したカードを交換したりできます。カメラには、32～256 GB、速度レーティングクラス 10 以上の microSD メモリーカードが必要です。

メモリーカードは、デバイスにある 2 つのメモリーカードスロットのいずれかから交換できます (デバイスの概要, 10 ページ)。

- 1 背面パネルの下のメモリーカードを交換するには、2 つのマークが付いた部分を押して、背面パネル ① を下にスライドさせて開きます。



- 2 メモリーカードスロット ② の場所を見つけます。
- 3 既存のメモリーカードをカチッと音がするまで押して放します。
既存のメモリーカードがスロットから出てきます。
- 4 既存のメモリーカードをスロットから取り出します。
- 5 スロットに新しいメモリーカードを挿入します。
- 6 カチッと音がするまでカードを押し込みます。
- 7 パネルを元に戻し、パネルがカチッと所定の位置に収まるまで上にスライドさせます。

メモリーカードのフォーマット

デバイスには、FAT32 ファイルシステムでフォーマットしたメモリーカードが必要です。デバイスを使用すると、このファイルシステムでカードをフォーマットできます。

新品のメモリーカードは、FAT32 ファイルシステムでフォーマットされていない場合はフォーマットする必要があります。

注：メモリーカードをフォーマットすると、カード上のデータがすべて削除されます。

- 1 ⚙️ > デバイスのリセット > メモリーカードのフォーマットの順に選択します。
- 2 消去してフォーマットを選択します。

メモリーカードからビデオを削除する

デバイスからビデオを削除して、取り付けられているメモリーカードの空き容量を増やすことができます。

- 1 ホーム画面から、📁 を選択します。
- 2 次の中からオプションを選択します。
 - ・ 保存したすべてのビデオを自動的に削除するには、**自動削除**を選択します。
 - ・ 削除するビデオを選択するには、**ビデオの選択**を選択します。
- 3 必要に応じて、削除するビデオを選択し、**削除**を選択します。

デバイスをコンピュータに接続する

USB ケーブルを使用して、デバイスをコンピュータに接続できます。

- 1 USB ケーブルの小さい方の端をデバイスのポートに接続します。
- 2 USB ケーブルの大きい方の端をコンピュータのポートに接続します。

コンピュータのオペレーティングシステムにより、デバイスはポータブルデバイス、リムーバブルドライブ、またはリムーバブルボリュームとして表示されます。

コンピュータからデータを転送する

- 1 デバイスをコンピュータに接続します ([デバイスをコンピュータに接続する, 32 ページ](#))。
コンピュータのオペレーティングシステムにより、デバイスはポータブルデバイス、リムーバブルドライブ、またはリムーバブルボリュームとして表示されます。
- 2 コンピュータで、ファイルブラウザを開きます。
- 3 ファイルを選択します。
- 4 [編集] > [コピー] の順に選択します。
- 5 デバイス上のフォルダを参照します。
注：リムーバブルドライブまたはボリュームの場合、Garmin フォルダにファイルを入れないでください。
- 6 [編集] > [貼り付け] の順に選択します。

USB ケーブルを取り外す

デバイスがリムーバブルドライブまたはボリュームとしてコンピュータに接続されている場合、データの損失を避けるため、デバイスをコンピュータから安全に取り外す必要があります。デバイスがポータブルデバイスとして Windows コンピュータに接続されている場合は、そのデバイスを安全に取り外す必要はありません。

- 1 次の手順を実行します。
 - Windows コンピュータの場合、システムトレイの [ハードウェアの安全な取り外し] アイコンを選択し、デバイスを選択します。
 - Apple®コンピュータでデバイスを選択し、[ファイル] > [取り出す] を選択します。
- 2 コンピュータからケーブルを取り外します。

アクセサリーを購入する

garmin.com/accessories にアクセスします。

